

令和8年1月9日

マルガリタ幼稚園

園長 近江谷 綾音



新年明けましておめでとうございます

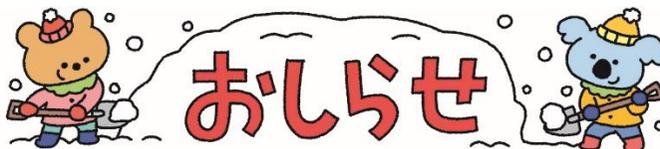
年末・年始、皆さん元気にお過ごしでいらっしゃいましたか。

今日から3学期がスタートしました。登園日は44日という短い学期です。残りの日々を、感謝しながら過ごしていきたいと思っています。

寒さは続きますが、少しずつ春を待っている木々の様子も見られます。木々が芽吹く時、子どもたちはどんな姿に成長をしているのでしょうか。

希望への歩みの日々を、ともに明るく元気に過ごしたいものです。同時に、地震などの自然災害や、国同士の争いなどのニュースも飛び込んできます。先日、教職員一同で受けた研修では、改めて、クリスマスのことを学びました。クリスマスは、何かを「もらう日」ではなく、「与える日」であるということ。何かの物をあげるだけでなく、様々な境遇の人たちを思い、手と手を合わせてお祈りすることもひとつの方法であることを学びました。これは、いつでも出来る大切なことです。

本年も皆様ご家族とマルガリタ幼稚園に関わる全ての方々の上に、神様の祝福がありますよう心から祈っております。どうぞよろしく願いいたします。



※いくつか2学期終業式号と重複する内容があります。

1) マルガリタ文庫について

開館日は、1月14日（水）です。

2) 創立記念日について

1月12日(月)は、マルガリタ幼稚園の創立記念日です。

幼稚園の表門(ピンク門)から入って、右側のひよこ組の横にありますご像が、**聖マルグリット・ブールジョワ**です。マルガリタ幼稚園は、この創立者の名前をいただいて名付けられました。詳細は、別紙をご覧ください。

3) 誕生会について

1月21日(水) 10時からホールにて。

1月生まれのお子様の保護者の方は、お祝いにいらしてください。保護者2名、未就園児が参加可能です。(いちご組は、園児のみの参加です。)

4) 新入園児入園前保護者会について

1月21日(水) 13時30分受付開始です。

お子様とご一緒の場合は、教職員が保護者会の間、お子様をお預かりいたします。現在、いちご組に在園している方もご参加ください。

5) 保育参観と講演会について

1月31日(金) ※この日は、午前保育です。預かり保育は実施します。

9時30分～10時20分 保育参観(各保育室にて) **※いちご組は別日**

10時25分～11時25分 講演会(ホールにて)

※講演会の講師と内容については、今しばらくお待ちください。

6) 不審者侵入時訓練について

1月29日(木)

教職員は、不審者が園内に入ってこないように、また入ってきてしまった時の連携の仕方や、安全に子どもたちを誘導、避難する方法を学びます。子どもたちは、不審者の目に入らないように避難をします。

7) 作品展について

2月10日(火)～13日(金) 詳細は、後日改めてお知らせします。

※準備のため、2月9日(月)は午前保育です。

8) 個人面談について

2月10日(火)～13日(金) 13時30分から。

- ・この期間は、**午前保育**です。
- ・日時と期間中の預かり保育についての詳細は後日お知らせいたします。
- ・この期間中に、どうしても都合のつかない日がある方は、**1月16日(金)**までに担任にメモでお知らせください。

9) 体操参観について

2月17日(火) 年長組

9時30分～10時10分 ゆり組

10時10分～10時50分 ばら組 ※年中、年少組の体操はありません。

2月24日(火) 年少組・年中組

9時40分～10時10分 さくら組

10時10分～10時40分 たんぽぽ組

10時40分～11時10分 ちゅうりっぷ組

11時10分～11時40分 すみれ組 ※年長組の体操はありません。

※場所(園庭、ホール)などは、後日詳細をお知らせいたします。

保護者の方2名、未就園児の参加が可能です。



- ・感染症の感染拡大予防のため、保育室の換気を定期的にします。
下着などで保温ができるよう工夫をしてください。
- ・青門の植え込みやマリア像のところには登らないでください。
- ・ルルドは、お祈りをする場所です。降園時に走り回ったり、入り込んだりしないようにしてください。





聖マルグリット・ブールジョワ
1620-1700

【 創立者：聖マルグリット・ブールジョワについて 】

マルグリット・ブールジョワは、1620年、フランスのトロワ市で生まれました。

1640年、20歳になったマルグリットは、ロザリオの行列への参加中、大聖堂のマリア像に目を留めた時に、石像が美しく輝いて見え、そこからすっかり彼女の内面は変わり、神に生涯を奉献すること以外に何も望むことがないことに気が付きました。

1653年ヴィル・マリー（マリアの町）現在のモンリオールの子どもたちや女性の教育のため、当時のカナダの知事ド・メゾンヌーブ氏に招かれて単身で大西洋を渡りました。

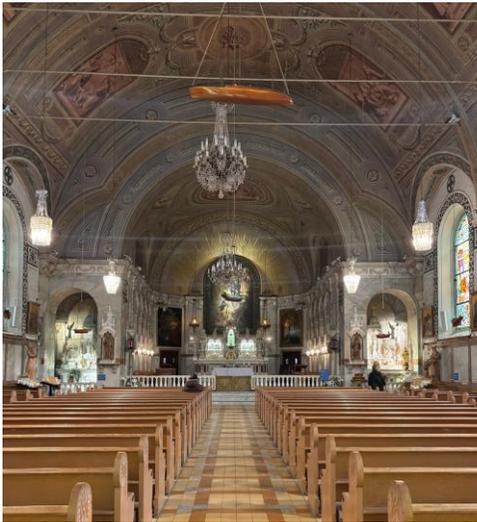
1658年石造りの家畜小屋を改造して、初めての学校を設立しました。マルグリット・ブールジョワは、イエスが馬小屋でお生まれになられたように、家畜小屋で学校を始められることを大変喜びました。

また、1678年には初めての石造りの聖堂が完成し、『よき助けの聖母聖堂』（ノートルダム・ド・ボンスクール教会）と名付けられました。これらの学校や教会は今でもカナダのモンリオールで大切にされています。

聖マルグリット・ブールジョワが晩年私たちに強く望み続けてきたことが、彼女の手記の中で次のように記されています。

「まことに、私が今まで熱烈に望み続けてきたこと、そして今も切に望んでいることは『すべてに越えて神を愛し、自分を愛するように隣人を愛しなさい』という大いなる掟が全ての人の心に刻まれることです」と。

創立者の精神に倣い、日々の保育に活かしてまいりたいと思っております。



『よき助けの聖母聖堂』（ノートルダム・ド・ボンスクール教会）

※昔の船乗りたちが航海の安全を祈って船の模型を奉納したことから、
別名「船乗りの教会」と呼ばれている。

左上：マルグリット・ブルジョワの眠るお墓（下に名前が書いてあります。）

右上：ボンスクール教会の入り口

左下：ボンスクール教会の聖堂

右下：船の模型がたくさんありました。